

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月3日

（宛先）奈良市長

提出者



住所 奈良市三条大路2丁目1番66号

氏名 平井建設株式会社
代表取締役 平井 克
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0742-36-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良市産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5条の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、この書面を添えて提出します。

事業場の名称	平井建設株式会社
事業場の所在地	奈良県奈良市三条大路2丁目1番66号
計画期間	令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	日本標準産業分類の区分 建設業 総合工事業
② 事業の規模	製造品等出荷額、元請完成工事高、病床数 等 (令和5) 年度 万円 病床 元請完成 59,039 万円
③ 従業員数	24 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(建設工事・解体工事) コンクリートがら→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 混合物→処理業者に委託して分別。再資源化の向上を図る 廃プラスチック類→再生処理業者に委託して再資源化 (舗装工事) アスファルトがら→再生処理業者に委託して再生アスファルトとして再資源化 (推進工事他) 建築汚泥→中間処理業者に委託して脱水後埋立処分

実施状況報告年度	令和5年度	令和6年度
計画書作成年度	令和5年度	令和6年度

单位:t

番号	産業廃棄物の種類	実績値 及び 目標値	産業廃棄物の排出 の削減に関する事項 (第2欄)		自ら行う産業廃棄物の 処理に関する事項 (第3欄)		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する 事項(第3欄～第4欄)		自ら行う産業廃棄物の 埋立処分又は海 洋投入処分に関する 事項(第4欄)		他者への 処理委託量 ＜自動計算＞	産業廃棄物の処理の委託に関する事項 (第4欄～第5欄)			
			排出量	自ら再生利用を行っ た産業廃棄物の量	自ら熱回収を行つた 産業廃棄物の量	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物 の量	自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行つた 産業廃棄物の量	処理委託先の内訳							
								優良認定処理業者 への処理委託量	再生利用業者(産業廃 棄物の再生利用を行う業 者)への処理委託量	認定熱回収業者へ の処理委託量		認定熱回収業者以外 の熱回収業者へ の処理委託量			
(1)	廃石綿	実績	9.50						9.5	0.00	0.00				
		目標	10						10	0	0				
(2)	がれき類	実績	1,658.76						1658.76	352	410.51				
		目標	1,500						1500	500	500				
(3)	木くず	実績	0.44						0.44	0	0.44				
		目標	10						10	10	10				
(4)	混合廃棄物	実績	6.01						6.01	0	6.01				
		目標	20						20	10	20				
(5)	廃石こうボード	実績	12.5						12.5	0	0				
		目標	10						10	3	5				
(6)	廃プラスチック 類	実績	2.36						2.36	0	0				
		目標	6						6	3	6				
(7)	ガラス・磁器類	実績	0						0	0	0				
		目標	20						20	0	0				
(8)	廃蛍光灯	実績	0.04						0.04	0	0				
		目標	5						5	0	0				
(9)		実績							0						
		目標							0						
(10)		実績							0						
		目標							0						
(11)		実績							0						
		目標							0						
(12)		実績							0						
		目標							0						
(13)		実績							0						
		目標							0						
合計		実績	1689.61	0	0	0	0	0	1689.61	351.95	416.96	0	0	0	
		目標	1581	0	0	0	0	0	1581	526	541	0	0	0	

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

環境管理責任者 (ISO14001) → 本社工事部責任者 → 現場作業所所長 → 現場作業所担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】				(1)～(4)以外は別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	(1)	廃石綿	(2)	がれき類	
	排出量	9.5 t		1658.76 t		
	産業廃棄物の種類	(3)	木くず	(4)	混合廃棄物	
	排出量	0.44 t		6.01 t		
	(これまでに実施した取組) 分別回収及び包装材の抑制					
② 計画	【目標】				(1)～(4)以外は別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	(1)	廃石綿	(2)	がれき類	
	排出量	10 t		1,500 t		
	産業廃棄物の種類	(3)	木くず	(4)	混合廃棄物	
	排出量	10 t		20 t		
	(今後実施する予定の取組) 前年度産業廃棄物排出量の抑制					

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	混合物を現場内で分別
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	混合物を現場内で分別

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】				(1)～(4)以外は別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	(1)	廃石綿	(2)	がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t		0 t		
	産業廃棄物の種類	(3)	木くず	(4)	混合廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t		0 t		
	(これまでに実施した取組)					
② 計画	【目標】				(1)～(4)以外は別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	(1)	廃石綿	(2)	がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t		0 t		
	産業廃棄物の種類	(3)	木くず	(4)	混合廃棄物	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t		0 t		
	(今後実施する予定の取組)					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】				(1)～(4)以外は別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	(1)	廃石綿	(2)	がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t		0 t		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t		0 t		
	産業廃棄物の種類	(3)	木くず	(4)	混合廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t		0 t		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t		0 t		
	(これまでに実施した取組)					
② 計画	【目標】				(1)～(4)以外は別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	(1)	廃石綿	(2)	がれき類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t		0 t		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t		0 t		

(第4面)

		産業廃棄物の種類	(3)	木くず	(4)	混合廃棄物
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		0 t		0 t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		0 t		0 t
		(今後実施する予定の取組)				
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 (1)～(4)以外は別紙のとおり					
	産業廃棄物の種類	(1)	廃石綿	(2)	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 った産業廃棄物の量		0 t		0 t	
	産業廃棄物の種類	(3)	木くず	(4)	混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 った産業廃棄物の量		0 t		0 t	
	(これまでに実施した取組)					
② 計画	【目標】 (1)～(4)以外は別紙のとおり					
	産業廃棄物の種類	(1)	廃石綿	(2)	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う産業廃棄物の量		0 t		0 t	
	産業廃棄物の種類	(3)	木くず	(4)	混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う産業廃棄物の量		0 t		0 t	
	(今後実施する予定の取組)					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 (1)～(4)以外は別紙のとおり					
	産業廃棄物の種類	(1)	廃石綿	(2)	がれき類	
	全処理委託量		9.5 t		1658.76 t	
	優良認定処理業者 への処理委託量		0 t		351.95 t	
	再生利用業者への 処理委託量		0 t		410.51 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量		0 t		0 t	

(第5面)

	認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量		0	t	0		t		
	産業廃棄物の種類		(3)	木くず	(4)	混合廃棄物			
	全処理委託量		0.44		t	6.01		t	
	優良認定処理業者 への処理委託量		0		t	0		t	
	再生利用業者への 処理委託量		0.44		t	6.01		t	
	認定熱回収業者への処理委託 量		0		t	0		t	
	認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量		0		t	0		t	
	(これまでに実施した取組)								
	② 計画	【目標】				(1)～(4) 以外は別紙のとおり			
産業廃棄物の種類		(1)	廃石綿	(2)	がれき類				
全処理委託量		10		t	1,500			t	
優良認定処理業者 への処理委託量		0		t	500			t	
再生利用業者への 処理委託量		0		t	500			t	
認定熱回収業者への処理委託 量		0		t	0			t	
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量		0		t	0			t	
産業廃棄物の種類		(3)	木くず	(4)	混合廃棄物				
全処理委託量		10		t	20			t	
優良認定処理業者 への処理委託量		10		t	10			t	
再生利用業者への 処理委託量		10		t	20			t	
認定熱回収業者への処理委託 量		0		t	0			t	
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量		0		t	0			t	
(今後実施する予定の取組)									
実施する予定なし									

収 受 印	※	備考	※	事業 所 番 号	※
-------------	---	----	---	-------------------	---

※ 欄には何も記入しないこと

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量等が下記のものについて事業場ごとに1枚作成すること。
 - (1) 前年度の産業廃棄物総発生量が 1000 トン以上の事業場
 - (2) 資本金が4千万円以上で建設業を営むもの
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令第3号）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が5以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。